

## △ノボリン30R 注フレックスペン [注]

【重要度】 【一般製剤名】インスリンヒト(遺伝子組換え) Insulin Human (Genetical Recombination) 【分類】混合型インスリン製剤

【単位】△100 単位/mL [1本3mL]

【常用量】1回4~20単位

【用法】朝食前と夕食前30分以内に皮下注 [1回の場合は朝食前]

【透析患者への投与方法】血糖値に応じて投与 (1)

【その他の報告】50%に減量 (10,17)

【PD】50%に減量 (17) PD患者にバッグ内投与されたインスリンはバッグやチューブなどに14%吸着する。腹膜からの吸収は17~66% (平均38%)と個人差が大きい (Fine A, et al: Perit Dial Int 2000 PMID: 11216554)

【CRRT】75%に減量 (17)

【保存期 CKD患者への投与方法】血糖値に応じて投与 (1)

【その他の報告】Ccr10~50mL/min : 75%に減量, Ccr<10mL/min : 50%に減量 (3,10,17)

【特徴】速効型インスリンと中間型インスリンを3:7で含有する混合製剤。懸濁製剤のため十分混和し均一にした後に使用。

【主な副作用・毒性】低血糖、ショック、血管神経性浮腫、過敏症、注射部位異常など

【F】

【tmax】

【蛋白結合率】

【Vd】

【透析性】

【備考】使用中は冷蔵庫に入れず、室温に保管し、6週間以内に使用する (1)

【更新日】20250528

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断複数・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。